

東北海区沿岸水温予報(2007年)

海域	経過 (4~6月)	現況(7月上旬~ 7月下旬)	見通し (9~11月)	見通しの背景	特異現象 (漁海況)
三陸北部 (青森県太平洋沿岸; 青森水研発表)	定線観測結果(太平洋) 6月:津軽暖流域の各層水温は、0.50m層で平年より高め、100m層ではなはだ高め、水塊深度は平年並み、津軽暖流の東方への張出し位置は平年よりもやや強勢。 定地水温 4月:やや高い~高い 5月:やや高い 6月:やや高い~極めて高い	定地水温 7月上旬:やや高い~高い 7月中旬:平年並み 7月下旬:やや低い~平年並み	津軽暖流域の水温は平年並み~やや高めで推移する。 津軽暖流の東方への張出しはやや東偏するものと思われる。	6月の太平洋の定線観測結果では、津軽暖流域での水温は高めで、津軽暖流の東方への張出しはやや強勢。また、6月及び7月末に行った日本海の定線観測結果各層水温は平年並み~やや高めの状態で、流量は平年並み、流幅は鱈作崎線でかなり広い、十三線では平年並みで、対馬暖流の勢力はやや強め。	特になし。
三陸中部 (岩手県沿岸; 岩手水研発表)	4月 表面:黒崎50海里付近で平年並のほかは概ねやや高め~高め 100m:黒崎40海里から樺島10海里以西でやや高め~高めのほかは概ね平年並 5月 表面:トドヶ崎20~30海里から樺島20~50海里で平年並みのほかは概ねやや高め~高め 100m:尾崎30~40海里でやや低め、黒崎50海里から樺島10海里以西でやや高めのほかは概ね平年並 6月 表面:黒崎50海里でやや低め、尾崎50海里及び樺島0~10海里でやや高めのほかは概ね平年並 100m:黒崎40~50海里付近で平年並みのほかは概ねやや高め~高め	7月 表面:黒崎0~5海里から尾崎0~10海里にかけて、黒崎20海里及び尾崎40~50海里から樺島20~50海里にかけてやや高め、樺島0~5海里で高めのほかは平年並 100m:黒崎5~10海里から尾崎5海里にかけて、樺島5海里及び尾崎20~40海里にかけてやや高め、樺島10~20海里及び尾崎50海里で高め、尾崎10海里及び樺島30~50海里で極めて高めのほかは平年並	期間前半は、県中・北部で平年並、県南部でやや高め~高めで推移する。期間後半は全域で平年並に推移する。	6月の観測で北退が確認された親潮系冷水が7月の観測で再び南下傾向を示したものの、その影響は県中部海域までであったこと、6月まで強勢であった北上暖水が7月の観測で停滞傾向を示したことから、期間前半は県南部でやや高めで推移するものの、期間後半にかけて平年並に推移すると考えられる。	5月から7月上旬にかけて県南部を中心にサバの水揚げが好調であったものの、7月中旬以降減少傾向にある。県南部海域、特に樺島定線で平年偏差が高め~極めて高めで推移している。
三陸南部 (宮城県沿岸; 宮城水研発表)	4月には、表面水温は142°30'E以西の海域では、6~9台で概ね平年並であった。142°30'Eより沖側の海域では8~12台で、平年より概ね1~4台高めであった。100m深水温については、5~8台で概ね平年並であった。雄勝沖合(38°30'Nライン)では、142°10'Eから142°30'Eの300m深付近に、3以下の冷水の分布がみられ、巨理沖合(38°Nライン)でも、400m深付近に約3の冷水の分布が認められた。 5月には、沿岸海域(142°30'E以西)の表面水温は、10~14台で平年並または平年より1~3台高めであった。沖合海域(142°30'E以東)の表面水温は、9~10台で平年より1~3台低めであった。100m深水温については、沿岸海域では5~8台で、概ね平年並であった。沖合海域では3~4台で、平年より2~4台低めであった。142°30'E以東の200m深付近について、雄勝沖合では約3の冷水の分布が認められ、巨理沖合では約2の冷水の分布が見られた。 6月には、表面水温は12~19台、100m深水温は6~14台であった。表面水温は、38°30'~39°Nの142°30'E以東の沖合海域では平年より1程度低めであったが、これ以外の海域では平年より1~2台高めであった。100m深水温は、38°30'Nの142°30'E付近の海域で平年より1程度低めであったが、これ以外の海域では1~3台高めであった。	7月上旬には、表面水温は、雄勝沖合(38°30'Nライン)の143°E付近から巨理沖合(38°Nライン)にかけての142°E付近の海域で、平年より3程度高めで、これ以外の海域では概ね1~2台高めであった。100m深水温は、雄勝沖合から巨理沖合にかけての142°~143°Eの海域で平年より5~7台高めであった。 7月下旬には、表面水温は、雄勝沖合142°E付近の海域で、平年より3程度低めで、これ以外の海域では1~2台低めであった。100m深水温は、雄勝沖合142°E付近の海域で、平年より3程度低めで、これ以外の海域では概ね1~4台高めであった 表面水温は上旬に比較して、概ね1~2台昇温した。100m深水温は、雄勝沖合142°E付近の海域で、上旬より約4台降温したが、他の海域では概ね1~3台昇温した。	雄勝沖合(38°30'Nライン)の143°E付近の海域では、平年並みまたはやや高めで推移する。 このほかの海域については、9月には平年より高めで推移するが、10月以降は低めで推移する。	「宮城県沿岸海域の海況予測モデル」によって海況予測を実施した。(2007年7月の類似年は1998年7月と1995年7月であった)	・浮魚類の7月の水揚量について、マイワシは前年比149%と好調だが、カタクチイワシとサバ類では、前年比がそれぞれ65%、38%と不調となっている

常磐北部 (福島県沿岸; 福島水試 発表)	4月には本県中南部海域を中心に黒潮系暖水の強い波及が継続し、3月頃みられた親潮系冷水の南下は勢力は弱まり、水温は高め基調で推移した。5月には本県南部海域では黒潮系暖水の波及が継続したが、親潮由来とみられる低温・低塩分な水塊が広く分布した。この水塊は6月上旬には本県沖50~60海里を中心に分布し、水温は平年並で推移した。6月下旬には本県沖合からの黒潮系暖水の強い波及がみられた。	6月下旬頃より南及び沖合からの強い暖水波及が継続し、本県海域ほぼ全域に及んだため、7月上旬の観測では本県沖は広く平年より高め~極めて高めの水温が分布したが、本県海域に黒潮系流由来の目立った強い流れはみられなかった。7月下旬には本県北陸沖80~100海里付近にて比較的低温で南下流をもつ水塊を観測した。	現状の、本県海域全域における水温の高め傾向は衰退してゆくものの8月まで継続する。期間後半の水温は平年並~やや高めとなり、冷・暖水の波及状況も平年並のものとなる。	見通しは本県周辺海域100m深水温の統計解析による予測結果のとおり。現状、本県海域は暖水波及により高水温となっているが、強い暖水波及傾向は認められない。また、本県より北の海域に弱いながらも親潮系冷水の南下傾向が認められる。したがって統計解析予測の結果を支持するが、黒潮系流域の変動に伴い本県へ沖合からの黒潮系暖水の波及がみられる可能性がある。	・例年3~5月に本県南部で水揚げがみられるオキアミは来遊がなく5月末まで水揚げされず、6月上旬に極僅かに水揚げされたのみであった。 ・昨年に続き5月から6月にかけて、2001年以来の春シラスのまとまった水揚げがみられ、水揚量も昨年を上回った。
常磐南部 ~鹿島灘 (茨城県沿岸; 茨城水試 発表)	4月:東経142~143°付近に強い北上暖水が見られ、本県沿岸域に暖水の波及が見られた。この北上暖水により親潮系冷水の南下が阻まれた。 表面水温:13~15 北部海域「平年並み」~「やや高い」 南部海域「平年並み」~「高い」 100m深水温:12~15 北部海域「やや高い」~「極めて高い」 南部海域「低い」~「高い」 5月:親潮系冷水の差込みが期間を通して見られた。黒潮は犬吠奇沖に接岸した。 表面水温:12~23 北部海域「やや低い」~「高い」 南部海域「平年並み」~「高い」 100m深水温:8~19 北部海域「やや高い」~「極めて高い」 南部海域「やや低い」~「高い」 6月:常磐北部から低温水が流入した。黒潮は下旬以降、犬吠奇沖から離岸した。 表面水温:13~25 北部海域「極めて低い」~「平年並み」 南部海域「やや低い」~「極めて高い」 100m深水温:8~21 北部海域「極めて低い」~「平年並み」 南部海域「低い」~「極めて高い」 海洋観測結果より	常磐北部から混合水が流入している。一方で、黒潮は犬吠奇から離岸して東方へ流去している。 表面水温:18~23 北部海域「平年並み」~「高い」 南部海域「やや低い」~「やや高い」 100m深水温:10~13 北部海域「平年並み」~「高い」 南部海域「極めて低い」~「平年並み」 海洋観測結果より	概ね「平年並み」~「高め」で推移する。ただし、親潮系冷水南下時には「極めて低め」となる。	7月中旬現在、東北海域は金華山沖合からの暖水波及により暖かい水温環境が持続している。海面高度による流れによれば、その暖水が本県海域に南下流として影響を与えている。	特になし。

各階級の水温平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部~鹿島灘
		距岸10海里内	距岸10~70海里			
極めて高い(2.5%)	+2.4 ~	+4.0 ~	+6.0 ~	+2.4 ~	+4.0 ~	+4.0 ~
高い(7.5%)	+1.6~+2.3	+2.5~+3.9	4.0~+5.9	+1.6~+2.3	+2.5~+3.9	+2.5~+3.9
やや高い(20%)	+0.7~+1.5	+1.0~+2.4	1.5~+3.9	+0.7~+1.5	+1.0~+2.4	+1.0~+2.4
平年並み(40%)	+0.6~-0.6	+0.9~-0.9	1.4~-1.4	+0.6~-0.6	+0.9~-0.9	+0.9~-0.9
やや低い(20%)	-0.7~-1.5	-1.0~-2.4	1.5~-3.9	-0.7~-1.5	-1.0~-2.4	-1.0~-2.4
低い(7.5%)	-1.6~-2.3	-2.5~-3.9	4.0~-5.9	-1.6~-2.3	-2.5~-3.9	-2.5~-3.9
極めて低い(2.5%)	-2.4 ~	-4.0 ~	-6.0 ~	-2.4 ~	-4.0 ~	-4.0 ~